

2015年度 事業報告

特定非営利活動法人 愛逢

1. 活動の成果

第3期中期ビジョンの初年度にあたり、新しいビジョンを視野に入れての活動ができた。配食では事例発表の依頼があり、福祉有償運送は事業継続の更新が完了した。しかし、介護保険に係る事業については利用者数の急激な減少により大幅な収入減となった。しかし、昨年度から開始した居場所づくりに集うメンバーでネットワークを構築し、子育て支援の取り組みとして「園田地区子育て支援連絡会」が立ち上がった。ここでは「子ども食堂」や「冬休み・春休みのお昼ご飯会」が活発化している。

2. 事業実施体制

(1) 配食サービス・子育て家庭支援等の助け合い事業

■見守り活動を兼ねた夕食の配食サービス

■制度でまかなえない部分の生活に関する支援等

活動ボランティア人数 : 延べ約 180 人

受益対象者の人数 : 配食数 11,717 食 / 利用延べ件数 740 人

(2) 介護保険法に基づく事業

①訪問介護事業・予防訪問介護事業

■在宅で安心して暮らすための、高齢者の生活援助と身体介護等の支援

■救急法、認知症についての基礎の再認識を目的としたヘルパー研修の実施

■月1回のミーティングによる、課題の共有と解決に向けた討議

活動ヘルパー人数 : 28 人 (3月末時点)

利用者数 (延べ) : 要介護者 332 人

要予防介護者 167 人

②居宅支援事業

■地域包括センター等と連携を取りながらの各利用者に見合ったケアの構築

■地域住民の相談窓口

ケアマネージャー : 2 名

利用者数 (延べ) : 要介護者 337 人

要予防介護者 187 人

(3) 障害者総合支援法に基づく事業

①居宅介護・重度訪問介護・同行援護

■在宅で安心して暮らすための、障害者の生活援助と身体介護等の支援

■月1回のミーティングによる、課題の共有と解決に向けた討議

活動ヘルパー人数 : 28 人 (3月末時点)

利用者数 (延べ) : 259 人

②移動支援

■一人での外出が困難な障害者の外出支援

活動ヘルパー人数 : 28 人 (3月末時点)

利用者数 (延べ) : 78 人

(4) 福祉有償運送事業

■公共交通機関を利用した外出が困難な方への福祉車両を使用時の送迎支援

活動ドライバー数 : 5 人

活動回数 (延べ) : 231 人

(5) 終末期支援事業

■ホームホスピスの運営

■地域の医療・介護・福祉団体との連携を目的としたネットワーク団体の一員としての勉強会・研修会の実施

■夜間を想定した防災訓練の実施やご近所事業所との行事等での交流 ■ボランティアグループとのつながりや定例会議による、入居者の日常生活の充実と関係性づくり

■看取り文化の創出

入居者数 (延べ) : 6 人 (5 人定員)

3.NPOに係る事業

(1) 保健・医療・福祉に係わる啓発及び教育研修事業

■第10回生と死を考える市民講座 『いのちつぐみとりびと』

<講演会>

実施日時	10月23日
実施場所	園田小学校
参加者数	206人
講師	國森康弘

<写真展>

実施日時	10月23～25日
実施場所	園田公民館
参加者数	139人

- 地域向け連続市民講座 講師：藤本啓子 延べ69人参加
7月14日（リビングウィルについて）
21日（リビングウィルワークショップ・栄養）
28日（リビングウィルワークショップ・がん）

(2) 地域の各機関との連携・交流事業

①居場所づくり事業

- 「より愛そのだ～ぼちぼち～」 →コープサークルぼこぼこと協働しコープ園田内で月2回の開催
■小中島での居場所づくり →5月11日にオープンしたモーニング喫茶には準備から携わり、会計も担当したが8月末で終了する形となった。その後の進展はない。

②園田地区子育て支援連絡会

- 子どもの貧困に関するフォーラムの開催
11月2日 園田支所 講師：徳丸ゆき子「NPO 法人大阪子どもの貧困アクショングループ」
■みんなでお昼ごはん会
3月29日～4月1日（4日間） 延べ人数：子ども50人・大人88人（スタッフ38人含む）
■そのっこ夕やけ食堂
3月25日 プレオープン（2016年度より毎週金曜日の16時～19時継続して開設）

③見守り安心委員会

- ④お出かけ隊 →3月3日 参加人数：9人 行先：ニフレル